

算数科の目標
<p>・具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。</p> <p>・具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。</p> <p>・具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。量やその関係を言葉、数式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。</p>

学習すること	
前 期	○ なかまづくりとかず
	○ なんばんめ
	○ いくつと いくつ
	○ あわせて いくつ ふえると いくつ
	○ のこりは いくつ ちがいは いくつ
	○ 10より おおきい かず
	○ なんじ なんじはん
	○ はなは なんこ さいたかな
	○ どちらが ながい
	○ 3つの かずの けいさん
後 期	○ どちらが おおい
	○ たしざん
	○ かたちあそび
	○ ひきざん
	○ どちらが ひろい
	○ 20より おおきい かず
	○ なんじなんぷん
	○ ずを つかって かんがえよう
	○ かたちづくり
	○ 1ねんのふくしゅう

算数科の評価

・算数科では4つの観点で評価します。			
算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととする。	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え表現したり工夫したりしている。	整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けている。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。
・次のような方法で見ていきます。			
発言内容 取り組む様子	ノートのとめ方 計算練習 練習問題	プリント 作品作り	テスト カード作り
			学習態度 ドリル